

# 哲學研究

第十卷 第八册

第二百五十二號

大正十五年八月一日發行

教育學の性質につきての一考察

文學士 伊藤猷典

宗教的體驗の受動的特質

——特にルッターの體驗について——

文學士 佐藤繁彦

カント倫理學に於ける Person 並に Persönlichkeit

の概念について

文學士 柳田謙十郎

プラトンのバイドロス(ジョン・バリ)

文學士 田中美知太郎

新刊紹介

京都帝國大學文學部

京都哲學會

## 京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一、毎月一回研究会ヲ開ク
- 一、毎年春秋二回公開講演會ヲ開ク
- 一、毎月一回雜誌『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會事務所ヲ京都帝國大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一、委員(若干名)京都帝國大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
- 一、書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得
- 學校、圖書館、教育會、其他ノ團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年四圓四拾錢、前後二期ニ分チテ前納スベキモノトス
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得且ツ雜誌、『哲學研究』ノ配付ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

## 京都哲學會役員

### 委員

文學士																				
伊藤	植田	狩野	小西	高坂	小島	澤村	高瀬	田邊	朝永	中井	西田	野上	波多	深田	藤井	松本	和辻	文學士	文學士	文學士
典	藏	喜	直	重	正	太	次	十	十	正	多	俊	精	康	治	三	哲	郎	郎	郎

## 前 號 目 次

機械作用と身體の個性(中)…………… デイルタイの心理學的理念の基本的なるものについて(三)…………… …… 問の構造——解釋學的研究——…………… 現象學的傾向…………… デイルタイ著「哲學の本質」の邦譯について…………… …… 彙報其他……………	文學士 大西友太…………… …… 文學博士 檜崎淺太郎…………… 文學士 三木清…………… 醫學士 坂田徳男…………… …… 文學士 勝部謙造……………
--	--

告 會

一、本會へ入會希望者ハ京都市西洞院七條南内外出版株式會社内京都哲學會宛テニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)御納付ノ上御申込被下度候  
 一、會員ニシテ轉居入退會等(編輯事務以外ノ一切)ノ事務ハ内外出版株式會社内京都哲學會へ御通知被下度候  
 一、會費ハ振替口座大阪〇六六三番、内外出版株式會社内京都哲學會宛テニ御拂込被下度候  
 一、本誌ノ編輯ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛テニ御發送被下度候  
 京都帝國大學 文學部内 京都哲學會

定 規 文 註

◎ 會員にあらざる購讀者の御註文及び廣告に關する件は内外出版株式會社へ御申込下され度候  
 ◎ 本誌の御註文はすべて代金郵税共前金にて御送り下さるべく候  
 ◎ 振替貯金にて御送金 (振替大阪三三九五番三三九三一番東京三三九三一番) 内外出版株式會社宛に願上候前金切れの場合は帯封に「前金切」の印章捺捺致すべくに付直に御拂込下され度候  
 ◎ 特に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

價 定

廣告料

一頁 金參拾圓 半頁ハ取扱不申

冊	數	定 價	一 郵 稅
一冊	冊	金四拾錢	金壹錢
六冊	冊	金貳圓四拾錢	不申
十二冊	冊	金四圓八拾錢	不申

大正十五年七月廿五日印刷納本  
 大正十五年八月一日發行

第百廿五號 第十一卷 第八册

製複許不  
 載轉禁

編輯者 京都帝國大學文學部内 京都哲學會

右代表者 伊藤 猷 典

發行者 須磨 勘兵衛

印刷者 須磨 勘兵衛

印刷所 須磨 勘兵衛

發行者 須磨 勘兵衛

發行所

京都市下京區西洞院七條南 内外出版株式會社

振替口座 大阪三三九五番 東京三三九三一番

本社 京都市下京區西洞院通七條南入  
 販賣所 東京市日本橋區本銀町三ノ十四 内外出版株式會社

賣捌所

(東京) 寶文館 東海堂  
 (大阪) 北隆館 上田屋  
 (神戸) 寶文館 盛文館  
 (京都) 共盛社 川瀨書店 參文社